

開発経済学 貧困削減へのアプローチ 増補改訂版  
 第一刷 訂正表

修正箇所	修正前	修正後
第 10 章 p.162 最終段落 6~7 行目	借り手の期待利潤は $\Pi_{sr} = p_r R_r - \rho p_r / p_s$ となり、 <u>安全なプロジェクトと危険なプロジェクトの成功確率の差(<math>p_r / p_s</math>)が大きければ、債務不履行による…</u>	借り手の期待利潤は $\Pi_{sr} = p_r R_s - \rho p_r / p_s$ となり、債務不履行による…  ※「安全なプロジェクトと危険なプロジェクトの成功確率の差( $p_r / p_s$ )が大きければ、」を削除
第 10 章 p.163 注 12	ここで $\Pi_{sr} - \Pi_{ss} = \rho \left( 1 - \frac{p_r}{p_s} \right) - (p_s R_s - p_r R_r)$ であるが、「危険なプロジェクトを採用することによる期待収益減少の効果」は $(p_s R_s - p_r R_r)$ を指し、「債務不履行による利益」は $\rho \left( 1 - \frac{p_r}{p_s} \right)$ に相当する。 <u><math>\Pi_{sr} - \Pi_{ss}</math>は、<math>p_s / p_r</math>の低下と共に増加する。</u>	ここで $\Pi_{sr} - \Pi_{ss} = \rho \left( 1 - \frac{p_r}{p_s} \right) - (p_s R_s - p_r R_r)$ であるが、「危険なプロジェクトを採用することによる期待収益減少の効果」を $X_1 = (p_s R_s - p_r R_r)$ 、「債務不履行による利益」を $X_2 = \rho \left( 1 - \frac{p_r}{p_s} \right)$ で定義しよう。仮定により $X_1$ も $X_2$ も正である。 $X_1 > X_2$ ならば $\Pi_{sr} - \Pi_{ss} < 0$ ゆえに借り手は安全なプロジェクトを選び、 $X_1 < X_2$ ならば $\Pi_{sr} - \Pi_{ss} > 0$ ゆえに借り手は危険なプロジェクトを選ぶ。 $p_s$ と $p_r$ の差がそれほど大きくないときには、 $\Pi_{sr} - \Pi_{ss} > 0$ となって借り手が危険なプロジェクトを選ぶ可能性が高まる。本章付論の数値例を参照されたい。